

## ご挨拶

人類が初めて手にした金属は、銅であるといわれています。そして、銅は古くから私たち人類の生活に、深い関りを保ちつづけて、文化の進展に多くの貢献を果たして参りました。今日、銅は長い歴史と伝統を基盤とし、近年の技術の進歩に裏付けされ、その数々の特性を活かして、広範な分野で使用され、私たちの生活の向上と産業、経済の発展に大きな役割を果たしております。

さて、社団法人日本銅センターは、昭和三十九年に設立以来、銅の需要の開拓、拡大のために、いろいろな事業を積み重ねて参りましたが、本年創立二十五周年の輝かしい年を迎え、今日のわが国銅関連産業の発展隆盛を見ることが出来ますことは御同慶の至りであります。この二十五周年記念事業の一つとして、当センターではこれまで活動の重点としてきました建築分野に、今後も銅の使用を促進する一環として「銅・建築・空間」を発刊することにいたしました。

本書の刊行に当たりましては、建築家・内井昭蔵先生と京都大学名誉教授・吉田光邦先生にご尽力を賜わり、いろいろご助言をいただきました。心から感謝申し上げますとともに、作品、および資料の提供でご協力いただきました諸先生方、また編集を担当下さった小倉一夫編集事務所の皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成元年三月

社団法人 日本銅センター

専務理事 阿部和男

銅と表現	内井昭蔵	17
銅と文明	吉田光邦	81
銅の変奏		9
銅の空間		33
京都宝ヶ池プリンスホテル		34
天寿園		36
新高輪プリンスホテル		38
赤城林間学園		40
江戸崎カントリー倶楽部クラブハウス		42
松陰女子学院大学		44
久保惣記念美術館		46
明治生命本館		48
東京証券取引所		50
東京ヒルトンホテル		52
ホテル・桜庵		54
霞が関ビル内東京会館		56
東京海上ビルディング本館		58
朝霞荘		60
ライベスト蓼科		62
新国技館		64
大平邸		66
新宮殿		68
茨城県立近代美術館		70
球泉洞森林館		72
世田谷美術館		74
八ヶ岳高原音楽堂		76
飯倉NOAビル		78
銅のアンソロジー		97
銅の歴史		106

目次